

「アスティアかさい」の活性化について

一般質問



中右 憲利 議員
(21政会)

問 駅前再開発ビルのテナントスペースの約3割が空いているとの事だが、特に2階の空きが目立つ。

第三セクターとして市が関わっていることもあり、市は何をしているのかと感じる市民も多いと思う。この部分について今後どういう対応をされるのか。

答 2階部分については、この春に内科医院が1院進出する予定となっていますが、全体としてテナント誘致は困難を極めているのが実情です。一時期商業テナントの誘致活動を断念し、クリニ

ックゾーンの拡大、介護施設等の誘致を実施してはどうかという意見もありましたが、既存の店を生かせる商業ビルという魅力の創出にこだわり、商業テナントの誘致活動を実施しているところです。

問 2階のテナントスペースについては、入ってはすぐ撤退する事の繰り返しという印象がある。

今の状態では大変寂しい印象を受けるので、物を買う店舗にこだわらず、安定した需要があり長く定着する店舗、施設に入ってもらう事が重要かと思う。

一時検討された医療、福祉、介護等の施設、あるいは駐車場に近接する利便性を生かした子ども関連の施設を誘致することも考えられる。

ここは加西市の一つの顔、玄関口にもなるので、路線変更をして、できるだけ活性化を図って欲しい。

答 ご指摘の通り、今までは商業ビルという事にかなりのこだわりがありましたが、現状では若干の路線変更は当然考えていかなければいけない時期とっています。

その一つとして、福祉施設、医療施設、子ども施設関連は重要施策であると思います。

しかしこれは管理会社である(株)北条都市開発で、再度十分な協議を願わないといけない事ですので、その方向で議論をして頂くよう要望を上げたいと思います。

■その他の質問項目

- ・市内基幹道路の整備について
- ・売却予定市有地について
- ・学校給食における食育及び地産地消の取り組みについて
- ・フラワーセンターの活性化について

市民の健康推進について

一般質問



衣笠 利則 議員
(21政会)

問 ①加西市の食育推進計画が昨年10月にできてから、どのような活動をされてきたか、また今後どのように進めるのか。

②中国から飛散している大気汚染物質PM2.5について、加西市としての対策はどのように考えているのか。

答 ①肥満や生活習慣病が増加している現状から規則正しい食習慣については、乳幼児のときから身につけるよう支援しており、子どもだけでなく保護者や家族が食生活を見直すきっかけとなるように取り組んでいます。

②大気汚染物質については、健康への懸念が非常に高まっていることから、市としては市民に対して情報発信を行い、注意喚起をすることが一番の対策と考えており、かさい防災ネットを使った情報発信や市のホームページへの情報の掲載を行っています。この大気汚染物質は非常に怖いものなので、市民の健康保護ということで情報発信に努めていきます。

空き家・廃屋対策について

問 市長の施政方針の中にもうたわれていたが、加西市にとっても大変重要な問題となっている。空き家を利活用する方法はないのか、またそのような情報発信する手段はないのか、長期放棄されている住宅や壊れかけている住宅は市内にどれくらいあるのか、それらの住宅についてどのように対応するのか。また条例は考えて

いるのか。

答 居住できる住宅は平成20年、21年に空き家の現況調査を実施し、利用可能な住宅については空き家バンク登録制度という形で現在12軒が登録されています。今後も積極的に活用すべきものと考えています。また、再利用不可能な危険な物件については、平成22年9月の調査で28軒というデータが残っていますが、所有権などの実態がつかめていない状況です。空き家対策は重要な政策課題と認識しており、現在庁内検討会を開催して、関係部署での課題整理を行うなど、条例の制定に向けた準備を進めているところです。

※会派は、3月定例会時の所属を記載しています。